

ボウリング、パリ 2024 組織委員会から選ばれず (WB オフィシャルサイトより)

ローザンヌ発、2月22日- 今朝、パリ 2024 オリンピック組織委員会からの公式書簡により、ボウリング競技は 2024 オリンピックに追加される新種目として開催都市から推薦されないとの連絡を受けました。パリ 2024 は 2024 年のオリンピック大会への第 2 段階へ進むよう推薦する追加種目としてブレイクダンス、クライミング、サーフィン、スケートボードを挙げています。

大会組織委員会は事前に、申請過程において 8 種目の追加リストを選定するとき対象となるべき IOC 承認競技のリストを渡されていたにもかかわらず、今回の進行過程はショートリストが作成されていない点や全 IOC 承認種目が公式のプロセスを踏まずにしかもショートリストも発表されないで申請過程に進むことができた点で異なります。

約 20 の IOC 承認種目がパリの 2024 オリンピック大会への追加の検討を申請したそうです。

前回は東京の 2020 大会へのショートリストに載っていただけに、ワールドボウリングにとって今回の発表は本当に残念に違いありません。

ワールドボウリング CEO ケヴィン・ドーンバーガーは次のように述べています。「この発表に接し、心から残念に思いますが、選ばれた 4 つの種目にはおめでとうと申し上げたい。ボウリングは東京の 2020 大会にもう少しで追加されるところまで行ったのでこの 4 年間非常に積極的に活動してきました。このニュースで我々が後退してはなりません。我々はこのスポーツがオリンピック種目となり、大衆を楽しませるポテンシャルを大いに秘めていることを知っており、今回のことは継続的に改善していくモチベーションになるだけです。」

ワールドボウリングの 4 人のメンバーとフランスボウリング連盟 (FFSBQ) の 3 人のメンバーから成る代表団が今年 1 月にパリ 2024 組織委員会の役員と会談し、競技自体とパリ 2024 オリンピック大会でこの競技をどのようにお見せできるかの構想をお示しました。

パリ 2024 の 4 つの追加種目の推薦は来年東京 2020 大会の後の IOC 理事会で投票にかけられます。